

学校だより



平沼

横浜市立平沼小学校

平成29年 9月1日

URL : <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/sch/es/hiranuma/index.htm>

向上心と努力が素晴らしい結果を生み出す

校長 小西俊光

「おはようございます！」

8月28日、38日間の夏休みが終わり、子どもたちが元気よく学校に登校してきました。どの子どもたちもひとまわり大きく成長したように感じました。保護者の皆様、地域の皆様のおかげで、子どもたちは楽しく充実した夏休みを過ごすことができたのだと思います。本当にありがとうございます。

8月24日に横浜市立小学校水泳大会がありました。本校からも6名の子どもたちが西区の代表として参加しました。200メートル男子リレーでは西区水泳大会で出した記録を約8秒も更新。男子50メートル背泳ぎでは横浜市10位の好記録。女子50メートル平泳ぎでは横浜市3位の好記録で銅メダル。参加した6名の子どもたちはみな素晴らしい泳ぎを見せてくれました。6名の子どもたちの向上心と努力がこうした素晴らしい泳ぎを生み出したのだと嬉しく思いました。

この水泳大会で「向上心と努力が素晴らしい結果を生み出すこと」を実感する出会いがありました。それは、この水泳大会のスペシャルゲストの成田真由美さんとの出会いです。成田さんは中学生の時に横断性脊髄炎を発症し、下半身麻痺のため車椅子生活をするようになりました。さらに23歳のとき、初めて参加した水泳大会から帰る途中、追突事故に巻き込まれ、脊椎を損傷し、左手に強度の麻痺、右手に軽度の麻痺が残ってしまいました。しかし、その後、成田さんはリハビリ、トレーニングを続け、アトランタ、シドニー、アテネ、北京と4つのパラリンピックに連続出場し、合計20個のメダル（金15個、銀3個、銅2個）を獲得しました。

この横浜市立小学校水泳大会で成田さんが実際に泳ぎを見せてくださいました。足は全く動きません。手のかきだけの平泳ぎ、背泳ぎ、クロールで100メートルを泳ぎ切りました。固唾をのんで成田さんの泳ぎを見ていた会場の人々から自然と拍手が沸き起こりました。そして、プールから上がった成田さんから「東京パラリンピックをめざし、自分の記録をさらに伸ばすために練習している」という決意表明がありました。成田さんの年齢がすでに46歳であることを考えると普通ならあきらめてしまうのに、この精神力の強さと向上心の高さには感動してしまいました。成田さんが普段から心がけていることは「だめだ、できないと思うのも自分。やるぞと思うのも自分。全てが自分の気の持ちようだ」ということだそうです。私たち大人も、そして子どもたちも成田さんのような精神力と向上心を身に付けていきたいものです。

前期終了までの約1か月半、前期のまとめの時期を迎えます。子どもたちが安心して豊かな学校生活を送ることができるよう職員一同努めてまいります。保護者・地域の皆様には、子どもたちへの変わらぬご支援をお願いいたします。